

# 石綿除去

## 環境対策

「吹付けアスベスト粉じん飛散防止技術」  
で石綿(アスベスト)を除去します。

この技術の特長

認定技術

財団法人 日本建築センター  
財団法人 建築保全センター  
から認定された技術です。

諸法規

大気汚染防止法、じん肺法、労働安全衛生法、  
作業環境測定法、「廃石綿等」に係わる廃棄物  
処理法他、各自治体の条例に準拠しております。

石綿とは、なぜ危険、どこに使用されている、確認方法は

### 石綿(アスベスト)とは

天然に出来た鉱物繊維です。  
熱に強く、摩擦に強く切れに  
くい、酸やアルカリにも強いなど、  
丈夫で変化しにくいという特徴  
を持っています。



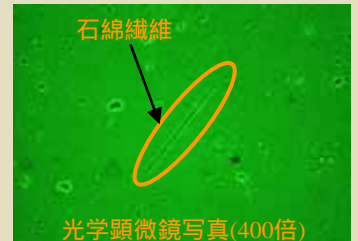
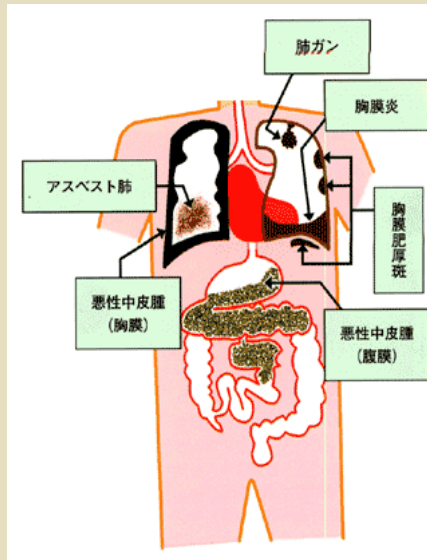
原石



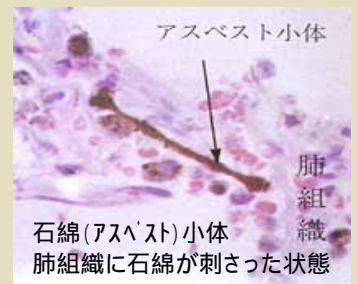
原石から取り出した状態

### なぜ危険？

石綿は丈夫で変化しにくいので  
少量を吸い込んでも肺の中に入  
ると肺組織に刺さり、約15～  
40年の潜伏期間を経て、肺が  
ん、悪性中皮腫などを引き起こ  
す可能性があるため、「静かな  
時限爆弾」とも呼ばれていま  
す。また、中皮腫の完治法はま  
だ確立されておられません。  
石綿は吹いてから20年を超え  
ると飛散しやすくなり、目に見え  
ない細い繊維のため、気がつ  
かない内に吸い込んでしまう可  
能性があります。



光学顕微鏡写真(400倍)



### どこに使用されている

石綿の用途は工業製品と建材  
製品とに分けられ、約9割が建  
材製品です。

昭和30年代から昭和50年代初  
期に渡って、自動車のブレーキ  
リングや、建物の吸音材や鉄骨  
の耐火被覆材として使用されて  
きました。



鉄骨耐火被覆



建物の吸音材

### 石綿の確認は、当社におまかせください

専門の調査員が、設計図書による調査、現場目視による調査、サンプリングによる分析調査などを行い  
石綿が含有されているかを判断いたします。

## 石綿除去

### 石綿除去70-チャート

#### 石綿除去前

関係官庁への届出、サンプリング調査、石綿厚さ調査、除去前の室内・敷地境界の石綿飛散測定をします。



#### 石綿飛散養生

床、壁、機器類をビニールで養生します。

セキュリティールーム、負圧集塵機を設置し、作業場からの飛散防止をします。



#### 石綿除去

専用工具にて石綿を除去します。

除去中は、作業員出入口前、負圧集塵機排気口、敷地境界の石綿飛散測定をします。

石綿除去完了後には飛散防止抑制剤を塗布します。

石綿・養生ビニールは専用の袋に二重袋詰めを行い、法に定められた処分をします。



#### 石綿除去完了後

除去完了後の室内及び敷地境界の石綿飛散測定を行います。

石綿代替材として、吸音材又は耐火被覆を施します。

石綿は建物の改修・解体・地震などによる倒壊などで、大気中に飛散し、知らず知らずの内に吸い込んでいるかもしれません。

「建物に既存する石綿は存在するだけで、私達の健康を蝕んでいきます。」



石綿除去前



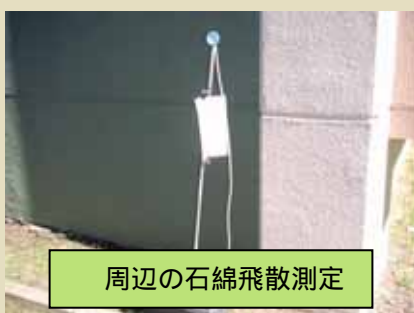
床・壁飛散防止養生



石綿除去



作業場前石綿飛散測定



周辺の石綿飛散測定



飛散防止抑制剤塗布



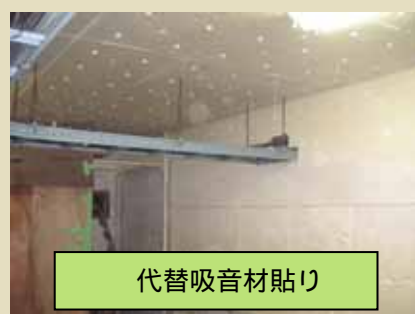
二重袋詰



石綿除去完了



石綿除去後の室内環境測定



代替吸音材貼り

問合せ先



東電工業株式会社  
TODEN KOGYO CO.,LTD.

工務本部 土木建築グループ(菅谷 雅之)  
TEL 03-6372-4935